

第1回一関市水道事業経営審議会 会議録

- 1 会議名 第1回一関市水道事業経営審議会
- 2 開催日時 令和4年12月20日（火） 午後1時30分から午後3時50分まで
- 3 開催場所 一関文化センター 小ホール
- 4 出席者
 - (1) 委員 二階堂満委員（会長）、石川聖浩委員（副会長）、岩渕省一委員、菊地健治委員、菊地正子委員、熊谷和子委員、佐々木京子委員、佐藤愛理委員、高橋系子委員、千田好記委員、千葉一郎委員、千葉博委員、千葉理恵委員、松岡千賀子委員、山岸学委員
 - (2) 事務局 佐藤孝之上下水道部長、
中田善久上下水道部次長兼総務管理課長、
佐藤伸一上下水道部次長兼東部上下水道課長、佐藤耕一水道課長、
熊谷貴之総務管理課水道経営管理係長、鈴木隆稔総務管理課総務係長、
鈴木文香総務管理課主任主事、青柳光幸総務管理課主任主事

5 公開、非公開の別 公開

6 傍聴者 1人（報道機関）

7 佐藤上下水道部長あいさつ

本日は年末のお忙しいところ、御出席をいただきましてありがとうございます。

本来であれば市長が参りまして、委嘱状を交付し挨拶を申し上げるところではございますが、本日は別用務で出張をしているため、こちらには出席出来かねましたので、私から代わりまして挨拶をさせていただきます。

日頃から皆様には当市の水道事業につきまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに心から御礼を申し上げます。

また、この度は一関市水道経営審議会委員をお引き受けいただき誠にありがとうございます。後ほど審議会委員について説明をさせていただきますが、当市の水道事業につきまして、それぞれのお立場から忌憚のないご意見等をいただければ幸いです。

当市の水道事業を取り巻く経営環境は、人口減少や水道施設の更新需要の増加などにより厳しい状況となっています。これまで上水道と簡易水道の統合や、水道施設の運転管理業務、水道料金の徴収業務委託などを進めまして、経営の健全化に努めてきたところでございます。

また、当審議会でも、令和2年10月から令和3年10月までの1年間にわたり審議をいただきました水道料金につきまして、本年10月に水道料金の改定を実施したところであ

り、今後一層の経営改善に努めてまいりたいと考えております。

本日は審議会への諮問に続きまして、当市の水道事業の概要を説明後、総務省の地方公共団体の経営財務マネジメント強化事業のアドバイザーを務められております矢巾町の政策推進監の吉岡様にご講演をいただく予定としております。その後皆様方での意見交換を行わせていただきたいと思いますと考えております。限られた時間ではございますがよろしくお願いを申し上げまして、簡単ではありますが挨拶に代えさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い致します。

8 会長及び副会長の選出

委員の互選により、会長に二階堂満委員が、副会長に石川聖浩委員がそれぞれ選出された。

9 諮問書手交

上下水道部長から二階堂満会長に諮問書を手交した。

10 説明

(1) 一関市水道事業経営審議会の開催について

資料に基づき事務局から説明を行った。質疑等なし。

(2) 一関市水道事業の概要

資料に基づき事務局から説明を行った。質疑等なし。

11 講演（講師：矢巾町政策推進監 吉岡 律司氏）

演題：水道事業の将来設計

以下、意見等。

委員 吉岡さんの話は、水道事業だけに限らず全ての事業運営に共通するものだと感じた。講演を受けて、水道は企業的な運営をしていかななくてはいけないと感じた。また、私自身の企業運営にも今話を生かしていきたい。

12 意見交換

委員 今回は、審議会の諮問内容が水道事業の健全経営ということで、吉岡さんに講演していただいた内容を参考にして、今後の審議をすすめていきたい。

委員 吉岡さんの講演を聞いて、住民ニーズと社会的ジレンマについてより理解を深めることが出来た。また、審議会委員についてだが、私自身水道経験が殆どないためお役に立てないかもしれないが、精一杯努めたい。

委員 行政と聞くと固いイメージがあるが、矢巾町は先進的な自治体であると感じた。私は病院の所属であり、水にはかなりお世話になっている。災害時などもいち早く対応していただいているので、今後ともお願いしたい。

委員 他人事のように参加していたが、吉岡さんの講演を聞いて自分の考えを言っ

ていくことは大事と感じた。今後の審議会では、自分の思ったことを言っていこうと思う。

委員 吉岡さんの講演を聞いて、蛇口を捻れば水が出るということがどれだけありがたいことか、若い世代の人達にもっと関心を持ってほしいと思った。大震災の際に水道が止まり不便な思いをした経験があり、水の大切さを実感したが、それをどうやったら若い世代の人達に伝えられるかを考えていきたい。

委員 吉岡さんの話を聞いて、自分の水の使い方について反省した。

委員 吉岡さんの話を聞いて、相手に働きかけるだけではダメなのだと思う。市民の方々に参加していただくことが大切であり、そのためには周知を徹底していかなければ理解は得られないと痛感した。

委員 吉岡さんの講演を聞くことにより、水道料金の値上げについての意味合いを理解することが出来た。一関市の水道状況を改めて知りたいと思った。また、水道施設等の見学を実施していただきたいと思った。

委員 私は、実際に工事に携わる身なのだが、水道料金の値上げの必要性が市民の皆さんに伝わっていないということがわかる講演だった。管路の老朽化が進み、市民の皆さんが知らないところで、夜な夜な各業者が漏水工事を行っているのが現状であり、管路の耐震化というのは非常に重要なことである。そのようなことも今後市民の皆さんに伝えていきたいと思う。

委員 吉岡さんの話は大変勉強になった。今後の参考にしていきたい。

委員 今回の吉岡さんの講演を聞いて、水道料金の値上げも仕方がないと思う一方で、人口減少が進んでいる地域の生活を、どのように維持していくべきなのかとういことも考えていかななくてはならないと思う。水道以外の部分も含め、総合的にこのような問題に取り組んでいくことが大切だと考える。今後、健全経営をしていく中で、どのように住民を巻き込んでいくかが問題だと思うので、より良い議論ができるように努めていきたい。

委員 知ることや知らせることの重要性を吉岡さんの講演を聞いて実感した。我々、委員の役割でもあると思うが、市職員の皆さんと協力しながら、市民の方々に水道のことを楽しく伝えていけたらと思う。

委員 吉岡さんの講演は、矢巾町に負けなくらい一関市も元気にならなくてはいけないと思えるものだった。吉岡さんには今後ともご指導をお願いしたい。

委員 吉岡さんの講演は、水道料金の値上げが何故必要なのか具体的に分かる内容となっていた。私自身も地域活動を4年間やっているが、合意形成の難しさを実感している。関心を持ってもらうことや、意識してもらうことが本当に簡単ではな

いことを痛感させられている。我々委員が、水道事業を理解して分かりやすく市民の方々に伝えていけるよう努めていきたいと思う。

委員 吉岡さんの講演を聞いて、水道事業はフューチャーデザインを考えながら進めていく必要があると改めて感じた。水道は生活していくうえで重要なインフラであり、何かあった時に出なくなったらお終いということには出来ないものだという事を再度認識した。次回以降の審議会では、フューチャーデザインを意識しながら子ども達にどのように残していけるかを考えていければと思う。

13 担当課 上下水道部総務管理課